

馬場さん、山口さん、故塚本さんの陶芸

3作品を永年保存

東濃信用金庫の「美濃陶芸作品永年保存事業」の本年度選定作品が5日発表され、馬場康貴さん(27)＝土岐市肥田町＝、山口美智江さん(54)＝名古屋市北区＝が選ばれた。ほかに特別永年保存選定作品に、人間国宝だった故塚本快示さんが選定された。

(山本貴史)

馬場さんの造形作品「structural vessel」は、たたらと呼ばれる板状の磁器原料を成形後、加湿器を稼働させたビニールハウス内で約8千個の細かなビ



永年保存作品に選ばれた(左から)馬場康貴さん、山口美智江さん＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

東濃信金選定、計99点に

山口さんの高さ40センチ、幅49センチの花器「夢想―幻―」は、釉薬の掛かり具合や光の当たり方によって桃色や肌色に見える作品。女性作家らしい柔らかな形も特徴的で、11年の菊池ビエンナレで奨励賞を受賞した。

1990年に77歳で亡くなった塚本さんの作品は直径58センチの「白瓷唐草文大皿」。60代後半に制作したとみられ、美濃地域で手に入る原料で高い質の白磁器作りを追求した様子がうかがえる。

とうしん学びの丘エール(多治見市虎溪山町)で発表会が開かれ、馬場さんは「何回も失敗してできた作品で選ばれたことは光栄」、山口さんは「今後も女性にしかできない表現を追求していきたい」と喜びを語った。

本年度、4点の推薦作品があり2月の推進委員会に加藤幸兵衛さんが3点を選び、同金庫が作品を購入し6日からとうしん美濃陶芸美術館(同)で展示。永年保存作品は今回を含めて99点になった。